

大和川で「天然アユ産卵場づくり」を試行 ～大和川に天然アユを学官民連携の産卵場づくり～



「産卵場づくり」とは固く締まった川石をスコップなどで掘り返し、アユが産卵しやすい浮石状態にすることです。大阪市立大学、近畿大学、大和川天然アユ研究会が試行主体となり、大和川市民ネットワーク(大和川釣り人クラブ)、大和川河川事務所等が協力して、平成23年10月22日(土)曇 13:00～16:30 河内橋上流にて、54名が参加しました。

産卵場づくり試行の様子



産卵場づくり試行場所の位置を測量する学生等(当日午前中)

耕耘して浮石状態にする参加者



「天然アユ産卵場づくり」についての意見交換会



耕耘した後、平になるように河床の表面を足などで均す

★後日、産卵等の追跡調査を大学にて行います。

意見交換会では、学生から「大学、NPO、行政などのたくさんの人たちが大和川に天然アユがのぼることを祈って活動していることに驚いた。」「川に入ることがないので、実際に水に触れ、流れの強さを体感できた。」などの感想がありました。

産卵場づくり試行の結果報告等は、

平成24年2月12日(日)午後
大阪市立大学学術情報総合センター
(主催:大和川河川事務所)

にて行います。**乞うご期待!!**